



第30回上田八木・金融政策サーベイ(2019年9月)

発表日：2019年9月17日（火）14：00 上田八木短資株式会社

調査日	2019年9月11日～13日
調査先	185先
回答率	87.5%

(Q1) 日本銀行の次回の金融政策決定会合（9月18日～9月19日）における決定内容について、どのような結果になるとみているのか。

	(今回)	(前回7月26日)	変化幅
緩和	15 (構成比%)	5	+10
不変	85	95	▲10
引締	0	0	+0
上田八木・金融政策インデックス (「引締め」-「緩和」構成比%)	▲15	▲5	▲10

(Q2) 3か月先の無担保コールON金利は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

	(今回)	(前回7月26日)	変化幅
低下	18	7	+11
不変	79	92	▲13
上昇	3	1	+2
短期金利予想DI	▲15	▲6	▲9

(Q3) 3か月先の「2年利付国債金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

	(今回)	(前回7月26日)	変化幅
低下	27	13	+14
不変	66	83	▲17
上昇	7	4	+3
2年国債金利予想DI	▲20	▲9	▲11

(Q4) 3か月先の「10年利付国債金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

	(今回)	(前回7月26日)	変化幅
低下	32	17	+15
不変	59	76	▲17
上昇	9	7	+2
10年国債金利予想DI	▲23	▲10	▲13

(Q5) 現状の金融緩和（オーバーシュートコミットメントを含む）からの出口開始時期はいつ頃か。

(ここでの「出口開始時期」はオーバーシュートコミットメントを考慮したもので、例えば消費者物価が4月に目標にワンタッチした後に6か月後にその時期が来ると予想すると「出口開始」は10月という意味です。資産買入れの残高が減っても物価目標を達成していなければ「出口開始」とはみなしません)

	(今回)	(前回7月26日)	変化幅
1. 1年未満	2%	3%	▲1%
2. 1年以上3年未満	42%	50%	▲8%
3. 3年以上	56%	47%	+9%